



現地決済型

ふるさと納税の導入を



Q 近年、これまでのような後日返礼品が届く形のふるさと納税とは違った「現地決済型ふるさと納税」を導入する自治体が増えている。旅行者が自治体を訪れた際にスマホなどから寄附し、同時に電子クーポン等を受け取り、その場で利用まで完結するというものである。

現地決済型ふるさと納税を導入することにより、例えば天童温泉での宿泊、市内飲食店やお土産物店での利用など、観光客の現地消費を寄附につなげるとともに、市内事業者への直接的な経済効果を高めることが期待できる。また、寄附を通じて天童市への愛着を深めてもらい、交流人口が拡大することも期待できる。

本市でも導入してはどうか。

A 現地決済型ふるさと納税は地域密着型のふるさと納税として注目されており、新規返礼品として天童ファン獲得に有効な手段であると認識している。現地を訪れる寄附者の利便性の向上や新たな寄附者の獲得が期待される現地決済型ふるさと納税の導入に向けて検討していく。